

おしゃべりしてみませんか、楽しいJAZZを！  
**おしゃべりサロン「相互塾」**

(第25回)

<入場無料>



老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

## ジャズの黄金時代

～スイング&パニック～

【ジャズの歴史(2)】

日 時：平成14年2月25日(月) 午後7時～9時

場 所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室(グリーンホール南隣)

語り手：島村 誠 さん(調布エフエム放送「トワイライト・ジャズ」担当)

ジャズは20世紀初頭アメリカ・ニューオリンズで生まれました。第一次大戦が勃発して1917年にアメリカが参戦、産業革命で人口移動が起こり、ミュージシャンはシカゴに、カンサスシティに、ニューヨーク等に移動し、デキシーランドジャズ、ブキウギ、ビッグ・バンド・ジャズ等スタイルを変えながら、新しいジャズが生まれました。

好景気に湧いた1920年代は禁酒法の下ではもぐり酒場が、カンサスシティでは公認の安酒場で黒人のビッグ・バンドがホットなジャズを演奏していました。

1930年代は1929年10月ニューヨークの株が大暴落して、1,500万人の失業者が出てどん底にあえぎましたが、暗い時代にあっては、ホットなジャズではなく、スイートでドリーミーなスイートジャズを好んで、心の安らぎを求められるようになりました。1935年には景気は回復し、ラジオ放送では明るく軽快なスイングジャズが全国に放送され、暗い気分から脱し、活気を取り戻しました。

ジャズは踊る音楽として、鑑賞の音楽として、世直し音楽として、賑わっていました。

【終了後懇親会(実費)を行います】

昨年6月の「ジャズ発祥の頃～黒人音楽の歴史～」に次ぐ、「ジャズの歴史」第2弾です。

主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 83-9993)

E-mail [mmanob@sepia.ocn.ne.jp](mailto:mmanob@sepia.ocn.ne.jp)

(ウラへ続く)

